

Time

flies. 英語でよく使われる表現で、あっという間に時が経つという意味である。この前、ロンドン大学で学位を取得したばかりと思っていたが、あっという間に、シニアと呼ばれる年代になっていることを、改めて認識した。いまだに試してみたいことが山積しているが、あと2年以内に定年退職することを考えると、留学してから光陰矢のごとく過ぎ去った時間を振り返ってみたい。

津田塾大学を卒業した後、企業でプログラマやエンジニアとして働いた後、30歳を過ぎてから、留学を実現した。1983年にロンドン大学のカレッジ、University College LondonのDepartment of Computer Science (UCL-CS)に留学した。修士課程は、12カ月、その後、博士課程に進学し、合計8年間、ロンドンに滞在した。修士課程の最初に学んだことは、UNIXやメールの使い方だったと記憶している。情報ネットワークの授業の課題では、自分自身に他の課題の答えを送り、それを教師に転送するような内容もあった。UCL-CSの博士課程は留学生が多く、皆、いつも大学におり、何か疑問やアイデアがあれば、話し合える仲間であった。UNIXでのtalkでは、真夜中にチャイナタウンへ中華そばを食べに行くお誘いもあり、懐かしいコミュニケーション手段であった。

UCL-CS時代、Steve Kille先生が、学科内でのメール関係を取り仕切っておられた。彼を訪問されたMarshall Rose先生は、UNIX用のメールシステムMHにかかわられたが、お会いしたとき、メールは相手を読んで返答しないのか、まだ読まずに返答しないのかが分からないと話されていたことを思い出す。帰国後、私は、大分長く、MHでメールを読み続けた。システムに向かうと、思わず指が、MHのメール受信命令のincとキーボードを打っていたほどであった。メールのほとんどがテキストデータであった古き良き時代である。

当時、学科内には、コモンルーム(Common Room)

村山優子 Yuko MURAYAMA

岩手県立大学

[正会員] murayama@iwate-pu.ac.jp

津田塾大学学芸学部数学科卒業。企業勤務を経て、1992年University College London 理学部計算機科学科博士課程修了。Ph.D.(ロンドン大学)。広島市立大学情報科学部情報工学科講師を経て1998年より、岩手県立大学ソフトウェア情報学部助教授。2002年より教授。現在に至る。本会セキュリティ委員長、情報セキュリティ心理学とトラスト研究会幹事、IFIP TC-11 Chair。

という、お茶を飲み、雑談できる場所があった。郵送物のメールボックスもあり、誰かに必ず会うことができた。学外からの訪問者の方々ともお会いできる機会があった。ようやく博士の研究の問題定義ができた頃、指導教官のPeter T. Kirstein先生のご友人のVint Cerf先生にもお話する機会もあった。ちょうど、博士論文の問題定義のところの下書きを持っていたので、それを説明させていただいたところ、経路制御の研究者のRadia Perlman博士と話し合うべきとの助言をいただいた。

私が特定した問題は、ネットワーク上のホストやルータをどのように発見するかということで、構成発見(Configuration Detection)と名づけた。当時、やはり、学科にお出でになったマサチューセッツ工科大学



[シニアコラム]

IT好き放題



[No.44]

UCL-CS 留学時代の思い出

のLCS(Laboratory for Computer Science)のDavid D. Clark先生に、Steve Kille先生が紹介してくださった。何をしているかを聞かれ、構成発見と言っただけで、Clark先生が部屋に響き渡る声で、「Configuration Detection!」と叫ばれ、面白いけど、難しいのではないかと言われたことを思い出す。先生のそのような反応を見て、当時、自分の定義した問題に自信があったものの、さらに確信したことを覚えている。その後、皆で行ったパブでは、Clark先生が、UCL-CSのJon Crowcroft先生とIntegrityの言葉の意味について、熱心に議論されていたことを思い出す。

あれから、30年。今、私が取り組もうとしているのは、東日本大震災の経験から、災害情報をどのように収集、配布、維持管理するかの災害情報処理とその一環としての災害コミュニケーションという当事者の意思疎通である。千年に一度という大きな出来事に遭遇し、我々の技量が試されていると感じる。小学生のときに父親から、「少年老い易く、学成り難し」の漢詩を教えられた。その年代になり、正にその通りとなりあわてているが、山積している諸問題を前に、立ち止まっては行かれず、まずは突き進むしかない。

(2014年6月23日受付)